

SGH: グローバル教育プロジェクト (人材育成について)

フィリピンの生活者意識と価値観について

2004 年より博報堂生活総合研究所の研究者として、日本の生活者と社会のこれからについて予測をしています。今年 3 月に、博報堂グループの企業理念である「生活者発想」をアセアン市場でも実態化するため「生活総研アセアン」を設立しました。

日本で 1992 年から隔年で行ってきた生活定点調査（衣食住から遊・働・学、社会意識に至るまで 1000 項目以上を聴取）を、アセアンの 6 カ国（タイ・インドネシア・シンガポール・ベトナム・マレーシア・フィリピン）でも実施。今後は、博報堂グループのアセアン各国の拠点メンバーとともに、各国の生活者の暮らしに根ざした現地視点での調査・分析を行い、最終的にはアセアン生活者の意識の変化とその未来像を、レポートなどで発表する予定です。

さて、この定点調査の数値を日本と比較すると、フィリピンの生活者意識が明確になってきます。最も特徴的なのは彼らの現在と将来への明るさ。「世の中によろこばしい事が多い」は 8 割を超え、「自分の将来イメージ」を「明るい」とする人も 9 割以上です。また、「宗教を信じる」人も 97.0% とほぼ 100% で、キリスト教の影響の強さが伺えます。さらに「社会全体における男女平等感」も 8 割以上と昔からの女性の社会進出の進捗度を表す数字となりました。

ポジティブな現状肯定と将来意識、強く定着する信仰心と男女平等感が共存する現在のフィリピンの生活者と交流すること。それは成熟期に入りつつある現在の日本では実感することが難しいが価値観を知ることにつながり、また、今後アセアンとの関係を強化することからグローバル化を展開していく際に、貴重な礎になっていくと感じています。

吉川 昌孝



吉川 昌孝

1965 年愛知県生まれ。

1989 年慶応義塾大学商学部卒、

同年、博報堂入社。マーケティングプランナーとして得意先企業の市場調査業務、商品開発業務、マーケティング戦略立案業務を担当。

2003 年より生活総合研究所客員研究員ならびに博報堂フォーサイトコンサルタントとして得意先企業の未来シナリオ創造ワークショップを担当。

2004 年より生活総合研究所。

2009 年より現職。 生活総研 主席研究員

